

平成 30 年度品川区シルバー人材センター 事業報告

公益社団法人
品川区シルバー人材センター
会 長 岩 澤 政 善

1. 事業実施状況

概 況

品川区シルバー人材センターは、昭和 52 年 4 月に高齢者事業団として設立され、さらに平成 23 年度には公益社団法人として新たにスタートを切り、今日まで 40 年以上の長きにわたり、高齢者の多様なニーズに応える組織のひとつとして、就業の機会を提供することを通じて、その活動を援助し高齢者の社会参加と福祉の増進を図ってきた。

さて、センターの事業運営に影響を与える我が国の経済状況を見ると、ここ数か月、オリンピック・パラリンピックの開催を控えた各方面のインフラ整備等もあり、雇用・所得環境の改善が図られ、景気は緩やかに回復しているとされるものの、中国経済の減速など海外経済の動向によっては大きな影響を受けることが懸念され、なお景気の先行きは不透明と言わざるを得ない。

このような状況の中、平成 30 年度は、第 4 次中期計画の 3 力年目として「シルバー世代の活躍と地域貢献を目指して」の理念の下に重点事業として定めた各事業の推進に着実に取り組んできた。

その成果として、会員数については平成 30 年度末で前年度より 2 名、0.1%減の 2,414 名となった。これは、入会の面では会員のご協力による入会強化事業が一定の効果を発揮した一方で、退会の面では未就業会員への就業の働きかけ不足が否めず、結果として会員数の増加に転じるには至らなかったというのが現状である。したがって、引き続き入会強化の取組みを継続するとともに退会を防ぐための未就業会員への働きかけを強化する必要がある。

事業実績については、シルバー派遣も含めた受託件数は 16,024 件と昨年度から 997 件の減となり、契約金額も、12 億 8 百万円余と昨年度より 1 千 9 百万円弱の減となった。これは、公共部門については新たな契約もありやや実績が伸びているものの、民間部門については、会員の平均年齢の上昇もあってか請負・委任契約でマンション、社内清掃などの引受け手不足による継続困難や新規需要にも応えられない状況から、減少額が大きくなったものと思われる。

最後に、センターの大きな課題として挙げられた事故防止については、件数こそ前年度に及ばなかったものの確実に成果が上がっている。これは安全管理委員会の活動強化、地区委員会の声掛けや会員の皆様のご協力の賜物と考えている。しかしながら、安全就業については、会員の安心安全を図る観点から事故ゼロを目指すべきものであり、これからも取組みを継続していくことが何より重要である。

以下、事業計画に沿った事業結果について報告する。

I. 事業目標・事業実績について

区分	当初事業目標	事業実績		
		実数	目標との比較	前年度比較
会員数	2,500名	2,414名 (男性1,355名、女性1,059名)	△86名 (3.4%減)	△2名 (0.1%減)
就業実人員 (請負)	年間 2,100名	年間 1,995名	△105名 (5.0%減)	△50名 (2.4%減)
就業実人員 (派遣)		11名		11名
就業延日人員 (請負)	年間 295千人	294,862日人	△138日人 (0.1%減)	△13,307日人 (4.3%減)
就業延日人員 (派遣)		221日人		221日人
契約金額 (請負)	年間 124,000万円	1,207,483,283円	△32,516,717円 (2.6%減)	△20,071,540円 (1.6%減)
		内 公 共 443,650,331円		5,185,950円 (1.2%増)
		内 民 間 763,832,952円		△25,257,490円 (3.2%減)
契約金額 (派遣)		1,138,905円		1,138,905円 (皆増)
受託件数 (請負)	年間 17,000件	16,016件	△984件 (5.8%減)	△1,005件 (5.9%減)
受託件数 (派遣)		8件		8件

II. 公益目的事業について

事業1 就業機会の確保・拡大

(1) 区の施策との連携・協力

公共の仕事として区内小中学校の施設開放管理、シルバーセンターの受付管理、選挙公報や区議会だより等の配布などを実施した。区との連携事業としては喫煙マナーアップ啓発事業、資源回収受付、しながわ出合いの湯運営業務など併せて602件の事業を行った。そのうち新規事業は品川区長選挙・品川区議会議員補欠選挙公報配布業務などの大口の配布業務や平塚ゆうゆうプラザの管理業務等を行った。

(2) 就業機会の確保・拡大事業

民間の仕事としての請負・委託事業については、毎年継続中の事業が減少はするものの、年間を通じて実施した総数は15,414件の受託件数であった。そ

のうち新規の契約は802件で、多くは清掃だが、他に施設受付業務などもあった。

① 技能系就業の技術の向上・リーダー育成

技能系就業においては、継続して事業を行うために数名新規就業者を得た。外部講師を招いての研修やOJTを通して技術の向上を目指している。しかし一部定着するまでには至らなかった職種もあるため、引き続き女性会員の活躍の場の確保も含め取組みを強化していく。

② ポスティングの配布体制

ポスティングについては、配布物の重量が増加したこと、配布期間の短縮化及び就業会員の負担軽減のため、部数の多かった6地域を12地域へ再分割することで、より正確かつ迅速な配布体制の実現に努めた。今後も部数が多い地域については、地域分割を行う等対応を進めていく。

③ 就業確保・拡大

就業確保・拡大のための就業開拓専門員による、区内の中小企業事業者を対象とする訪問活動や就業開拓を行った。また、区内全域でのポスティングを行い、問い合わせや下打合せにはすぐに伺うなど新規の案件を中心に清掃や技能系分野の受注拡大に努めた。区へ協力依頼を行い、産業ニュースやメールマガジンに掲載した。

(3) 地域・家庭からのニーズの充実

① 地域コンビニサービス事業

近年、高齢者世帯や単身世帯が多くなっている状況を反映して、粗大ごみの搬出や家具移動などの依頼が多くなっている。それらのニーズに応えるため受注体制の強化を図ってきた。ダブル就業の推進で徐々にではあるが従事会員も増えてきている。引き続き更なる人員確保とダブル就業の推進に努めていく。

地域コンビニサービス事業

事業項目	実績	事業項目	実績
包丁研ぎ・まな板削り	335件	室内外の片付け・整理・清掃	143件
粗大ごみの搬出・解体	81件	病院・買物の付添代行	78件
家具移動・その他	195件		

地域コンビニサービス計 832件

家事援助

事業項目	実績	事業項目	実績
家庭内の掃除	76件	洗濯及び掃除	47件
食事作り	12件		

家事援助計 135件

育児支援

事業項目	実績	事業項目	実績
送迎	16件	見守り	6件

育児支援計 22件

② 学習教室事業

区の補助を受けて、低廉な授業料で子ども向けの学習教室事業「おさらい塾」を実施した。平成 30 年度は小学 5 ～ 6 年生を対象とし各学年週 1 回の授業を行い、子どもの基礎学力の向上に努めた。

○小 5 ～小 6 各学年 1 クラス 生徒総数 10 名

③ いきいきプラザ事業の充実

荏原いきいきプラザでは、福祉的就業の場として、引き続き封入作業や検品作業など内職作業を積極的に受注した。

実績 125 件

(4) 適正就業への対応

適正就業となるよう担当職員による、現場巡回や就業会員への聞き取り調査を行い、就業手順書の修正を随時行い適正就業に努めた。

(5) シルバー派遣事業の導入

平成 30 年 10 月よりシルバー派遣事業に参入。保育補助を中心に事業を展開し、受託件数 8 件、契約金額 1,138,905 円の実績を上げた。派遣事業の実施体制を整備すべく、新たにセンター職員 4 名に派遣元責任者講習を受講させ、各拠点で事業を推進していく準備等を行った。

(6) 地区委員会・ボランティア活動の充実

地区委員会は、会員相互のコミュニケーションの円滑化や「共働」「共助」の理念に基づき会員の要望や課題の解決に向けて積極的に活動を展開した。

① 定期的な地区委員会の開催

毎月、定期的に地区委員会を開催しセンターの直近の話題、課題について意見交換するとともに地区全体会のテーマや日帰りレクの検討など積極的な運営に努めた。また、会報シルバーしながわの配付を実施した。

② 地区全体会の開催

夏期と新年に地区全体会を開催。個別テーマによる勉強会を兼ねて会員の知識の向上に努めるとともに安全管理委員等がセンターの大きな課題である安全就業の重要性を訴えた。また、仕事の募集・会員募集等のポスターの掲出を出席会員に依頼した。

地区全体会の開催 各地区 年 2 回

地区	夏期全体会	講習会などの内容	新年全体会	講習会などの内容
品川北	8/19 開催 68 名	○品川・旧東海道の歴史をたどる ○懇親会	1/14 開催 75 名	○安全就業講習 ○ウクレレ演奏
品川南	7/29 開催 27 名	○大井町周辺今昔の語り ○カラオケ・ビンゴ	1/27 開催 30 名	○安全就業講習 ○ピアノ演奏・漫談
大 崎	7/29 開催 48 名	○近代工業の発展と品川 ○懇親会	1/27 開催 46 名	○安全就業講習 ○ハーモニカ

地区	夏期全体会	講習会などの内容	新年全体会	講習会などの内容
大井東	8/26 開催 41名	○知ろう認知症のポイント ○抽選会	1/20 開催 44名	○安全就業講習 ○マンドリン演奏・ビンゴ
八 潮	7/22 開催 29名	○オレオレ詐欺、悪質商法 ○懇親会	1/19 開催 31名	○安全就業講習 ○踊り・ビンゴ
大 井	8/5 開催 35名	○オレオレ詐欺、悪質商法 ○懇親会	1/27 開催 40名	○安全就業講習 ○演芸・カラオケ
大井西	7/22 開催 22名	○派遣と請負 ○カラオケ	1/19 開催 22名	○安全就業講習 ○手品・カラオケ
荏 原	7/21 開催 64名	○しながわ防災学校・首都直 下地震に備える ○懇親会	2/16 開催 66名	○安全就業講習 ○漫談・オカリナ・バイ オリン・ギター三重奏
中 延	7/16 開催 54名	○認知症予防と認知症の人との接し方 ○懇親会	1/14 開催 58名	○安全就業講習 ○踊り・マジック
戸 越	8/8 開催 77名	○認知症はどんな病気？ ○フラダンス・ビンゴ	1/16 開催 62名	○安全就業講習 ○バイオリン・カラオケ

③ 地区委員長連絡会の開催

毎月の新入会員研修会に合わせ地区委員長連絡会を開催することで、各地区、事務局との情報連絡・情報交換を図るとともに新入会員に対して地区委員長の紹介、就業相談等を行った。

④ ボランティア活動

福祉施設を訪問し、会員による手品の披露や朗読、荏原音楽倶楽部と利用者の方々による合唱など、利用者の皆さんとともに楽しいひと時を過ごした。

戸越台特養ホーム訪問 10月24日 参加人数 14名

事業2 普及啓発事業

(1) 会員の入会強化

① 会員募集の強化

会員の方へ友人・知人紹介カードを配付し、多数入会者を紹介していただいた会員及び地区には入会勧奨への功労を評価し表彰することとした。

10地区 43名入会

会員募集ちらしは修正を加え配布を行った。また、派遣事業開始に伴い派遣登録会員募集ちらしの配布も行うことで会員増強を図った。

ホームページには新しい情報を迅速に載せることで、会員やお客様へのスピーディーな情報提供を心掛けた。

② シルバー人材センター体験のつどい

合同入会相談会として平成29年度に引き続き、「シルバー人材センター体験のつどい」を平成30年度は3回実施した。

開催日	開催場所	参加人数	主なイベント内容
9/19	南大井文化センター	36名	○包丁研ぎ実演 ○障子張り実演 ○マジック・バイオリン演奏など
11/26	荏原第一地域センター	75名	○パソコン操作 ○英会話 ○健康体操 など
2/22	東品川文化センター	33名	○包丁研ぎ実演 ○スマホ・タブレット体験 ○洋服補修班による小物作りの実演など

③ 元気高齢者の入会勧誘

60才以上の一般区民を対象に元気高齢者の入会促進を目的としたフランス語・英会話講習会を年3クール（1クール/4ヵ月間/16回）実施し入会勧誘を行った。

④ 関係機関でのPR活動

ハローワーク品川をはじめ、区の関連施設での事業案内パンフレットや会員募集等のちらしの設置をお願いし、利用者の方に広くセンターを知ってもらうためのPRを行った。

⑤ 現会員数の維持策

会員の健康維持策のひとつとして定時総会の間を活用して体力測定会を実施した。

測定項目 握力測定、血圧測定、骨密度測定、連続立ち上がり動作など

⑥ 地域包括ケアシステムに向けた取組み

家事援助や地域コンビニに従事する会員同士の座談会や「簡単ピカピカお掃除講習会」「楽しくお掃除講習会」を開催し地域包括ケアシステムの展開に伝えられるよう新たな会員募集策などの意見交換を行った。

⑦ 女性会員募集の強化

家事援助や育児支援の就業会員を安定的に確保するため、シルバー人材センター体験のつどいにて「クリスマスリース作り」や「スカーフの巻き方」「小物入れ作り」のブースを作り、女性が入会に興味を持つような取組みを行った。

(2) 積極的な広報活動の展開

① 事業PRちらし、ポスターの配布

新入会員の会員募集及び事業用ちらし配布	98,200枚
派遣事業スタートに伴う会員募集及び企業向けちらし	105,000枚
会員による会員募集ポスター貼付	400枚

② 区広報等の活動

区の広報しながわ 年5回実施、区の統合ポスター 3回実施

町会回覧 9月、10月、2月 年3回

国民健康保険加入者へ送付されるリーフレットへの広告掲載

品川区役所本庁舎3階戸籍住民課に設置されている電子広告表示板への掲載

2月実施

(3) 定期的な機関紙等の発行

① シルバーしながわ

広報担当理事と職員で構成される広報委員会が各発行時期に合わせて年12回編集会議を開催し、安全就業などセンターを取り巻く課題や身近な話題、地区委員会活動の様子などを取り上げた。また、品川区内の季節の風景などを表紙とし、会員さんの趣味の紹介や各地区の歩み・事務局の紹介など親しみのある紙面づくりを心掛けた。

年間発行回数 4回（4月・7月・10月・1月）

② センター通信

会員向けの月刊誌として直近の情報を会員に知らせるとともに、安全就業については欠かさず掲載し重要性を訴えた。その他、パソコン教室、お掃除等の講習会の案内を行い、会員の日頃の悩み解決や技術力の向上を図った。また、就業中の会員には配分金明細書に同封し、各事務所に配置することで未就業会員も入手できるようにした。

毎月発行…年間12回

事業3 研修・講習事業

(1) 新入会員研修

センターの行っている事業の基本的理解と就業の際の注意点、接遇の大切さなどの研修を実施した。

年間実施回数 12回 平成30年度受講会員数 204名

毎月の受講状況 (名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者	21	28	13	13	15	17	16	14	20	11	13	23

研修プログラム

「接遇」 講師 (株)パトス

地区委員長との顔合わせ

つま先立ち体操

センターの課題及び挨拶

会長

センター事業の説明

事務局長、事務局次長

就業の相談、あっせん

各担当者

(2) 職群ごとの研修会の開催

会員の技能向上と資質向上を目指して職群ごとに基礎研修を実施した。植木班については造園など技能知識が豊富で長い現場経験を持つ専門家が講師となり、シルバーセンター管理業務では円滑な業務遂行に向けてパソコン研修を実施するなど、外部講師を積極的に活用した。また、各職群の研修会では、接遇や安全就業などの研修を随時行った。

ア．防災活動広場公園等清掃業務

4月13・19日

40名参加

イ．植木班緊急安全集会

5月23日

19名参加

ウ. 家事援助・地域コンビニ座談会	5月24日・11月18日	35名参加
エ. 三徳会洗濯業務	5月29日	5名参加
オ. ふれあい作業所公園清掃業務	7月10日	40名参加
カ. 出張着付け業務	7月20日	12名参加
キ. シルバーパス更新業務	8月21・24日	112名参加
ク. 品川区長・区議会議員補欠選挙公報配布	9月10日	188名参加
ケ. 植木班緊急リーダー集会	10月12日	9名参加
コ. 自転車シミュレーター自転車講習会	11月16日	39名参加
サ. いきいきプラザ内職業務	12月20日	17名参加
シ. しながわ出合いの湯	3月11日	63名参加
ス. 喫煙マナーアップ啓発事業	3月12日	87名参加
セ. 児童通学確認業務・環境整備業務	3月18～20日	149名参加
ソ. 植木作業班	3月22・25・26日	21名参加
タ. 学校施設開放管理業務（班長）	3月26日	41名参加
チ. 児童センター目的外使用管理業務	3月29日	26名参加
ツ. 児童センター清掃業務	3月29日	36名参加

講師：コは 安全講話 品川警察署 鈴木係長様 実技 日本交通安全普及協会
 ソは 加藤造園 加藤信愛様・野口造園 野口忠男様
 その他は担当者

(3) 外部機関を活用しての研修

《東京しごと財団の就業支援講習会》

会員の技術力向上を図るため、東京しごと財団が実施する「就業支援講習会」に年間を通じて会員の参加勧奨を実施した。

植木剪定（初級）	1名参加
子育て支援サービス	1名参加
《第4ブロック共同研修》	
事故未然防止講習	14名参加
救急救命講習（AED）	4名参加
交通安全講習	13名参加
「クレーム対応とメンタルヘルス」研修	2名参加

事業4 調査研究事業

第4ブロック内のセンターを中心に派遣事業やセンターの事業状況等の情報を共有し意見交換等を行った。特に派遣事業においては、引き続き都内のセンターで先進している事例を参考に調査していく。

事業5 相談事業の実施

(1) 理事による就業相談

就業、未就業を問わず会員から広く就業上の相談や仕事上での悩みを理事が聞き取り、今後の仕事の改善や会員の生きがいづくりにつながるようアドバイ

スを行った。総務部会理事により主に未就業会員を対象に「お客様発注内容一覧表」などを活用し、本部及び荏原支部で就業相談を実施した。

毎月第2木曜日 午後1時から午後4時まで

相談会員 50名（男性 37名、女性 13名）その他、資料持ち帰りに多くの会員が来所した。

(2) 不適格就業会員への措置

不適格就業会員の措置要綱を制定しているが、適用となる事例についてはなし。

事業6 安全就業対策の推進

センターにおける安全就業対策は法人組織の維持のためにも重大な課題であり、平成28年度より安全管理委員会を中心に多様な取り組みを行ってきた結果、平成30年度においては、安全パトロールや事故再発防止講習会を実施し、11件の事故に抑えることができた。

事故概要については資料1のとおりだが、転倒事故が6件、転落が2件、動作の反動が2件、飛来が1件となっている。このように積極的な取り組みの成果が表れてきてはいるものの、全国的には横断歩道を歩行中の子供、高齢者が事故に巻き込まれるケースなどが多くなっており、今後とも高齢者自らが再三再四の注意を払う必要がある。引き続き安全就業の取り組みを継続していくことが重要である。

(1) 安全就業強化の取り組み

- ① 職群班の技能研修や打ち合わせ会を安全集会と兼ねたものと位置付け、安全管理委員も参加して開催した。開催された16職群では、安全就業についての講話、つま先立ち体操、指さし唱和の訓練、KY(危険予知)運動なども実施し、最後にそれぞれ安全宣言等を採用し、安全就業の徹底を図った。また、植木班の転落事故発生を受けて2回の緊急集会(5/23・10/12)を実施し、安全就業強化に取り組んだ。

ア. 防災活動広場公園等清掃業務	4月13・19日	40名参加
イ. 植木班緊急安全集会	5月23日	19名参加
ウ. 家事援助・地域コンビニ座談会	5月24日・11月18日	35名参加
エ. 三徳会洗濯業務	5月29日	5名参加
オ. ふれあい作業所公園清掃業務	7月10日	40名参加
カ. 出張着付け業務	7月20日	12名参加
キ. シルバーパス更新業務	8月21・24日	112名参加
ク. 品川区長・区議会議員補欠選挙公報配布	9月10日	188名参加
ケ. 植木班緊急リーダー集会	10月12日	9名参加
コ. 自転車シミュレーター自転車講習会	11月16日	39名参加
サ. いきいきプラザ内職業務	12月20日	17名参加
シ. しながわ出合いの湯	3月11日	63名参加
ス. 喫煙マナーアップ啓発事業	3月12日	87名参加
セ. 児童通学確認業務・環境整備業務	3月18～20日	149名参加

ソ. 植木作業班	3月22・25・26日	21名参加
タ. 学校施設開放管理業務（班長）	3月26日	41名参加
チ. 児童センター目的外使用管理業務	3月29日	26名参加
ツ. 児童センター清掃業務	3月29日	36名参加

- ② 地区全体会（年2回×10地区）においても安全管理委員が出席し、平成30年3月に作成した傷害事故事例集及び事故防止対策集を活用し、危険予知等について周知を図った。
- ③ KY運動については、4年目を迎え、指差し唱和・指差し呼称などをそれぞれの職群会議などで、会員に周知し実践するよう呼びかけを行い、それぞれの就業現場にふさわしい方法で実践するように依頼した。
- ④ 自転車事故の件数が多いことから、自転車を使用する会員を対象に自転車シミュレーターを使用した講習会を11月16日に本部2階・第一集会室で39名の参加者で実施し、品川警察署員の交通安全講話の実施後、代表者が体験乗車をして自転車に乗る際の注意点を参加者全員で学んだ。

(2) 安全就業基準の徹底

- ① 植木班、除草班を中心に安全講習会で安全就業基準の再確認をした。
植木班では、就業前からのヘルメットの着用徹底やヘルメット貸与時に安全就業のシールを貼り注意喚起を行った。また、除草班にもヘルメットを配付し、植木班と一緒に作業する場合などに着用を義務づけた。
- ② 高所作業（1.5 m以上）時に脚立や三脚等の道具を使用する際、安全就業基準の徹底を図った。主に使用するのは植木班であり、悉皆研修である安全講習会において徹底を図った。また、造園業の方を講師に招いた講習会及び研修でも使用方法を確認してもらった。植木現場での四脚使用は危険との指摘がされており、なるべく三脚使用に切り替えるため、安全講習会の時に説明し三脚利用の促進を図った。
- ③ 転倒予防に役立つようにと会議前等を実施している「つま先立ち体操」をより多くの会員にも広めるよう、職群会議・地区全体会・総会前・安全パトロール点検時に実施し普及に努めた。また、「楽にできる腰痛体操」についても、「つま先立ち体操」の仕方と一緒に掲載したちらしを配付して奨励した。さらに、「転倒しにくい体づくり！～今すぐ始める高齢者向け筋トレ～」のちらしを1月に全会員へ配付し周知を図った。

(3) 安全管理委員の活動強化

- ① 安全管理委員会の開催
安全管理委員会を年4回開催し、「安全対策基本計画」及び「安全対策実施計画」を作成・推進し事故0を目指した。
定期開催 年4回（4月・6月・10月・3月）
うち2回（6月・10月）は地区委員長との合同開催。
- ② 安全パトロールの実施
植木現場を中心に予定回数を大幅に上回る年間15回の安全パトロールを

行い、事故防止を呼び掛けた。また、1月・2月・3月については、夜の就業現場を中心にパトロールを実施。学校施設開放管理や地域センターの管理業務・夕方からの喫煙マナーアップ啓発事業などの現場を巡回し安全に対する注意喚起を行った。

実施日	パトロール場所	指摘、留意事項	参加者
5/17	植木現場 3 件	5/1 に植木会員転落事故を受けて安全対策は万全を期すよう依頼した。	安全管理委員長他 3 名
6/29	植木現場 3 件	植木班の安全会議を実施した成果か、安全には十分注意して作業していた。	安全管理副委員長 他 3 名
7/10	植木現場 2 件	気温が 30 度を超えている日で特に熱中症に十分注意するよう依頼した。	安全管理副委員長・地区委員長他 1 名
7/31	植木現場 2 件	気温が 30 度を超えている日で特に熱中症に十分注意するよう依頼した。	安全管理委員長・地区委員長他 2 名
8/29	植木現場 3 件	切った枝を処理していたが、安全帯をしていなかった為、木に登る時もあるので常備したほうが良いと指摘した。	安全管理副委員長 他 3 名
9/21	植木現場 2 件	9/13 に発生した植木班転落事故を受け転落事故現場の状況確認を行った。	安全管理委員長・副委員長他 2 名
10/25	植木現場 4 件	植木班リーダー会議実施後のパトロールで、会議で取り決めたことが守られており、安全に十分配慮していた。	安全管理副委員長 他 3 名
11/22	植木現場 4 件	脚立の使用方法で、安全に十分注意するよう依頼した。	安全管理委員長・地区委員長他 2 名
11/28	植木現場 4 件	リーダーの会員が安全ベルトを未着用だった為、普段からの着用を促した。	安全管理副委員長・地区委員長他 2 名
12/19	植木現場 4 件	指摘は特になし。	安全管理副委員長 他 3 名
1/21	喫煙マナーアップ ・大井町	作業開始前のつま先立ち体操の実施や協力しての灰皿清掃など適切に対応していた。但し会員証等の不携帯があり携帯を促した。	安全管理副委員長・安井局長他 3 名
2/21	地域センター 夜間管理業務 2 カ所	一人現場の為、健康に留意し帰宅時にも注意するよう依頼した。	安全管理委員長・地区委員長 他 3 名
2/27	学校施設開放管理 2 校	一人現場の為、行き帰りや現場巡回の際にも十分注意をしてもらうよう依頼した。	安全管理副委員長・地区委員長他 3 名
3/22	学校施設開放管理 2 校	一人現場の為、行き帰りや現場巡回の際にも十分注意をしてもらうよう依頼した。	安全管理副委員長 他 3 名

上記安全パトロール 14 回の他に 8/22 東京しごと財団から安全パトロール員が来所、植木現場 2 件の巡回点検を指導員・安全管理委員長他 2 名で実施した。

③ 安全就業強化月間の取組み

7月、11月、2月と3回実施した。各安全就業強化月間の共通の取組みとして事故防止の注意喚起のちらし配布、シルバーしながわでの安全就業に関する特集記事、センター通信等での就業途上の転倒事故・自転車事故防止の呼び掛けとつま先立ち体操の奨励等を実施した。また、就業報告書を提出の際に事故への注意喚起をする一人一声掛け運動を実施した。その他各事務所で安全就業の垂れ幕を掲出し注意喚起を図った。

また、安全強化月間においては安全パトロールを2回実施した。さらには、年2回実施した地区委員長合同の安全管理委員会において、地区委員長を始めとして、各地区委員の方からも安全就業について会員への声掛けを行うよう協力を依頼した。

以下、月ごとに行った取組み

《7月》

熱中症・茶毒蛾・蜂等に対する注意喚起ちらしを配分金明細書に同封
各事務所で「転倒防止」・「熱中症対策」の注意喚起ちらしと熱中症対策「塩飴」を配布
各事務所を避暑シェルターとして麦茶を用意
夏の地区全体会において安全管理委員による事故事例集を用いた安全講習の実施

《11月》

自転車シミュレーターを使用した講習会を11月16日に開催
各事務所で風邪予防「のど飴」を配布
就業経路途上の転倒事故・自転車事故防止ちらしを配布
安全標語の募集
安全グッズは救急セット「エイドチーム」を各事務所にて会員に配付
(平成31年3月末まで配付実施)

《2月》

各事務所で転倒防止や路面凍結の注意喚起ちらしと風邪予防の「のど飴」を配布

④ 会員への安全就業の周知

配分金明細書に適宜、安全に関するちらしを同封し注意喚起を呼び掛け、窓口でも配付し注意喚起した。(熱中症予防ちらし・転倒予防ちらし・雪に関する注意ちらし等)

⑤ 事故再発防止講習会

平成29年度に引き続き傷害事故に遭われた方を対象に参加を義務づけた事故再発防止講習会を実施した。講習会は傷害事故に遭われた会員が就業に復帰する前に局長・担当者・安全管理委員長・副委員長・地区委員長などにも協力いただき随時実施した。

⑥ 過去の事故事例集の活用

事故防止対策の強化を図るため、平成30年3月に全会員へ配付した「傷害事故事例集及び事故防止対策集」を地区全体会において安全管理委員が説明資料に活用した。

(4) シルバー保険の加入、自転車総合保険の斡旋

- ① シルバー保険加入 2,414人（平成31年3月31日現在）
- ② 自転車総合保険の加入の斡旋
保険加入者数 平成30年10月1日現在 463人

(5) 植木班・除草班の安全就業への独自の取組み

- ① 安全具の適正使用
植木現場に入る際は必ずヘルメットを着用し、安全帯も必ず用意し必要に応じ着用することとした。安全パトロールで確認したが違反は軽微であった。
- ② 5月1日に発生した植木転落事故を受けて、5月23日に植木班全会員を集め安全管理委員長他立会いのもと事故防止の為、緊急安全会議を実施し事故予防に役立てた。
- ③ 9月13日に発生した植木転落事故を受けて、10月12日に植木班リーダーを集め安全管理委員長他立会いのもと事故防止の為、リーダーとしての心配り等について緊急安全会議を実施し事故予防の徹底を図ることを確認した。
- ④ 職群会議及び安全講習会の実施
職群班会議を4月と3月に開催するとともに、悉皆研修として位置づけた安全講習会を3月に実施した。植木班・除草班全員が受講し事故の再発防止に努めたが、傷害事故（転落事故）が2件発生してしまった。このことを重く受け止め3月に開催した安全講習会でも講師にとりあげてもらい、再発防止に努めた。
- ⑤ 体調管理
体調に関するアンケート調査を会員の家族の協力のもとで実施し、作業量の見直しを行い、繁忙期でも週1日、原則週2日はできれば休み、体調管理に留意することとした。

(6) 事業継続計画（BCP）の策定

大規模な災害等が発生した時に備えて公共性の高い事業の継続性を確保するために実施すべき事業の対策、発生時の会員や事務局職員の対応などについて、まず、危機管理のベースとなるリスク管理規程を策定した。また、更なる危機管理の充実を図るため事業継続計画（BCP）を引き続き検討する。

事業7 地域交流活動の充実

(1) 会員交流コーナーの充実

本部、荏原支部、東大井支所に会員同士の日常的な交流の促進を図るとともに「お客様発注内容一覧表」を備え就業情報も得られる場としての、会員交流コーナーを毎月1回実施した。

来所会員 10名

(2) シルバーお助け隊の設置拡大

簡易なサービス提供を地域の会員同士が助け合う「シルバーお助け隊」機能の充実を図る為、現在設置している荏原地区及び中延地区の活動を調査し、今後、他地区への拡大を検討した。

(3) イベントを活用した PR イベントへの参加

イベント	実施日	参加会員・実績
みどりと花のフェスティバル	4/21・22 10/20・21	各日会員 4 名 包丁研ぎ延べ 150 本 PR グッズ延べ 800 個配布
八潮まつり	7/14・15	各日会員 3 名 PR グッズ延べ 200 個配布 菓子・ジュースの販売・輪なげ
品川第一地区まつり	7/15	会員 11 名 ポップコーン販売・パターゴルフ
シルバー成年式	9/8	会員 4 名 PR グッズ 600 個配布
武蔵小山一番通り 商栄会一番祭り物産展	10/26～28	各日会員 6 名 包丁研ぎ延べ 231 本 PR グッズ延べ 600 個配布
大商業まつり	11/24	会員 7 名 包丁研ぎ 24 本 PR グッズ 200 個配布
地域でつながる みんなの暮らし展 (旧：品川区消費生活展)	2/23	会員 5 名 包丁研ぎ 31 本 PR グッズ 100 個配布

(4) 会員サークル活動の充実

「フランス語講習会」に続き「英会話講習会」を新たに実施し 3 クール実施した。

Ⅲ. 収益事業

国有地・所有地をセンターが道路占用許可や行政財産の使用許可を得て、駐車場として経営した。また、毎日の清掃、不法駐輪・駐車物の撤去や道路の整理・整頓などを実施して周辺環境の整備に努めた。

実績額 943 万円

Ⅳ. 法人運営（法人会計）

(1) 運営の簡素化

公益法人の機関運営については、簡素で効率的な法人運営の徹底に取り組んだ。

平成 30 年度定時総会

開催日時 平成 30 年 6 月 15 日（金） 午後 1 時～
開催場所 品川区東大井 5 - 18 - 1 きゅりあん（大ホール）
会員数 2,442 名
出席会員数 1,566 名（内委任状 1,129 名）
定足数 1,221 名（会員数の 2 分の 1）
議案

第 1 号議案 公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成 29 年度決算報告

第 2 号議案 理事 1 名選任の件
報告事項 公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成 29 年度事業報告
公益社団法人品川区シルバー人材センター
平成 30 年度事業計画及び収支予算書

(2) ガバナンス（内部統治）の強化

理事会の活性化及び監査の充実

理事会等を定期的開催し事業の全体状況や会員の現状など運営全般を適宜把握し、課題や問題点について活発な論議を重ねて管理と経営の充実に努めた。また、監査についても適切な経理処理と経営改善につながるよう定期的に実施した。

理事会 年 11 回開催
三役会 年 11 回開催
監査 年 2 回開催

2.会 員 の 状 況

(1) 会員の入退会者数

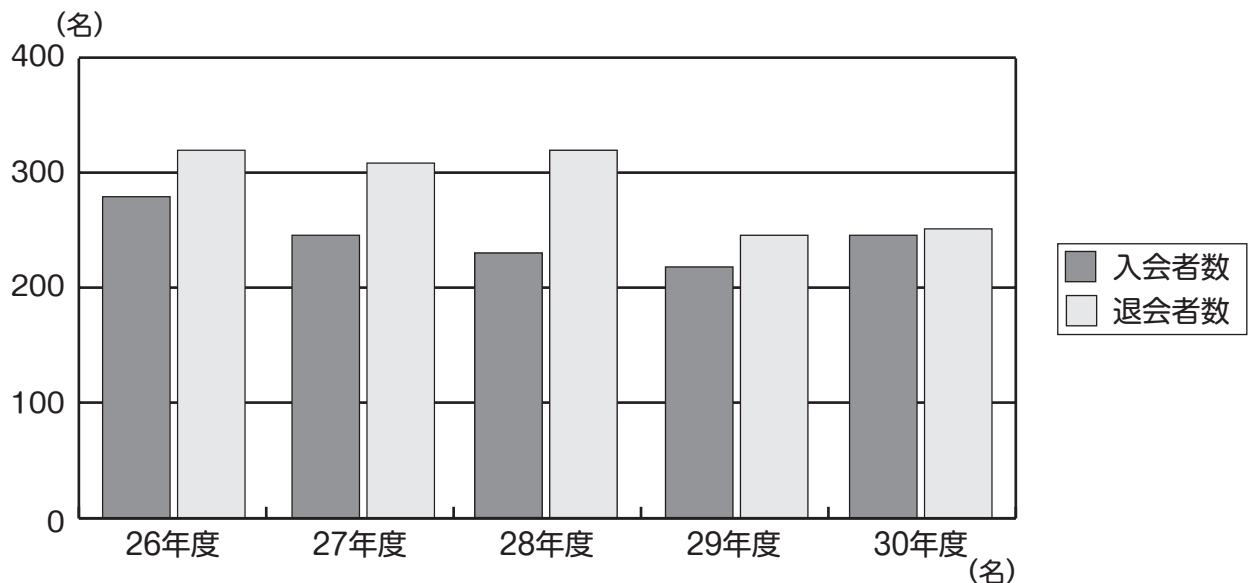
(名)

年 月	入 会		退 会		月末会員数		
	男	女	男	女	男	女	計
30.4	29	37	18	22	1,377	1,065	2,442
5	13	12	6	8	1,384	1,069	2,453
6	9	6	40	21	1,353	1,054	2,407
7	4	12	14	10	1,343	1,056	2,399
8	12	8	5	6	1,350	1,058	2,408
9	7	13	21	22	1,336	1,049	2,385
10	10	5	3	1	1,343	1,053	2,396
11	12	9	6	4	1,349	1,058	2,407
12	13	8	9	2	1,353	1,064	2,417
31.1	3	3	3	6	1,353	1,061	2,414
2	4	4	6	4	1,351	1,061	2,412
3	4	4	0	6	1,355	1,059	2,414
合 計	120	121	131	112			

退会理由

病 気	81 名	家庭の事情(介護等)	10 名
就 職	10 名	会 費 未 納	43 名
死 亡	38 名	加 齢	20 名
転 居	21 名	センター運営に対する不満	0 名
希望する仕事なし	7 名	未回答(不明)	1 名
就業機会なし	2 名	そ の 他	10 名
		合 計	243 名

(2) 会員の入退会者数の推移 (過去5年間)



区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
入会者数	277	242	234	219	241
退会者数	316	304	309	241	243

(3) 会員の年齢別内訳

平成31年3月31日現在(名)

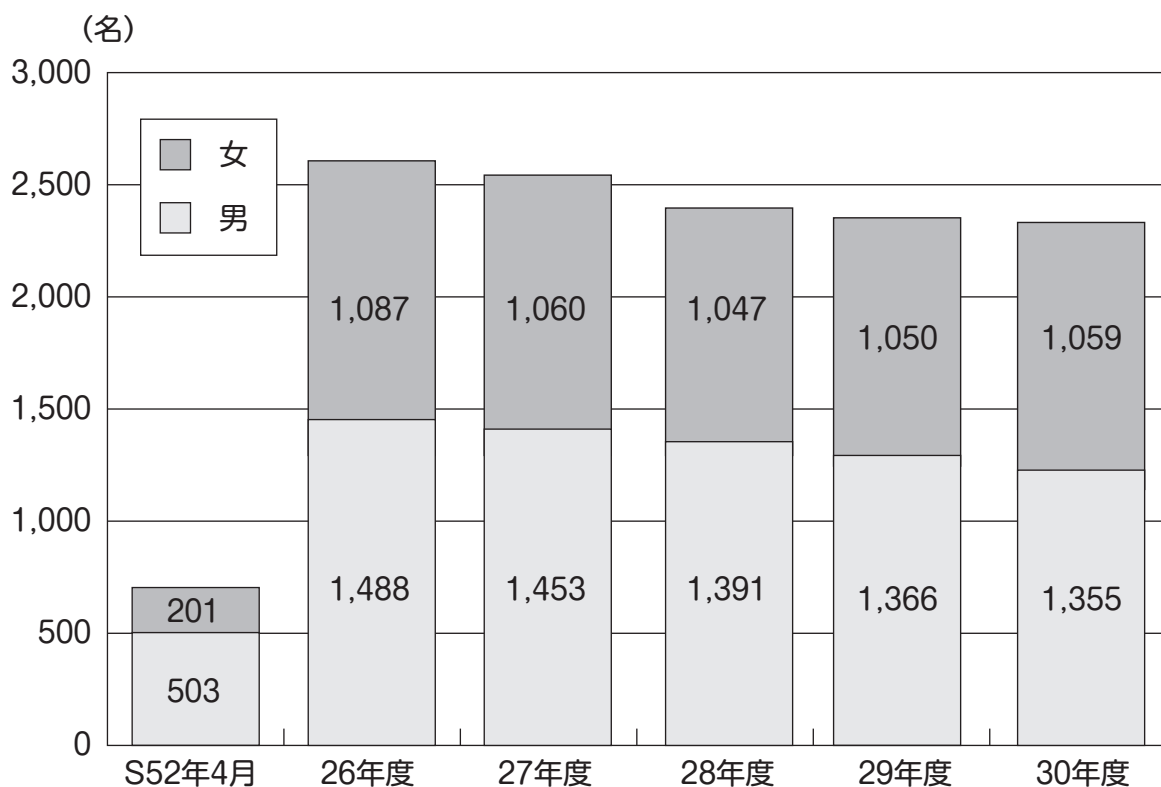
	60歳未満	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上	合計
男	1	25	185	363	440	341	1,355
女	0	20	156	304	343	236	1,059
計	1	45	341	667	783	577	2,414

- ・会員の男女比 男性 56.1% 女性 43.9%
- ・平均年齢 男性 76.1歳 女性 75.6歳
- ・最高年齢 男性 96歳 女性 91歳

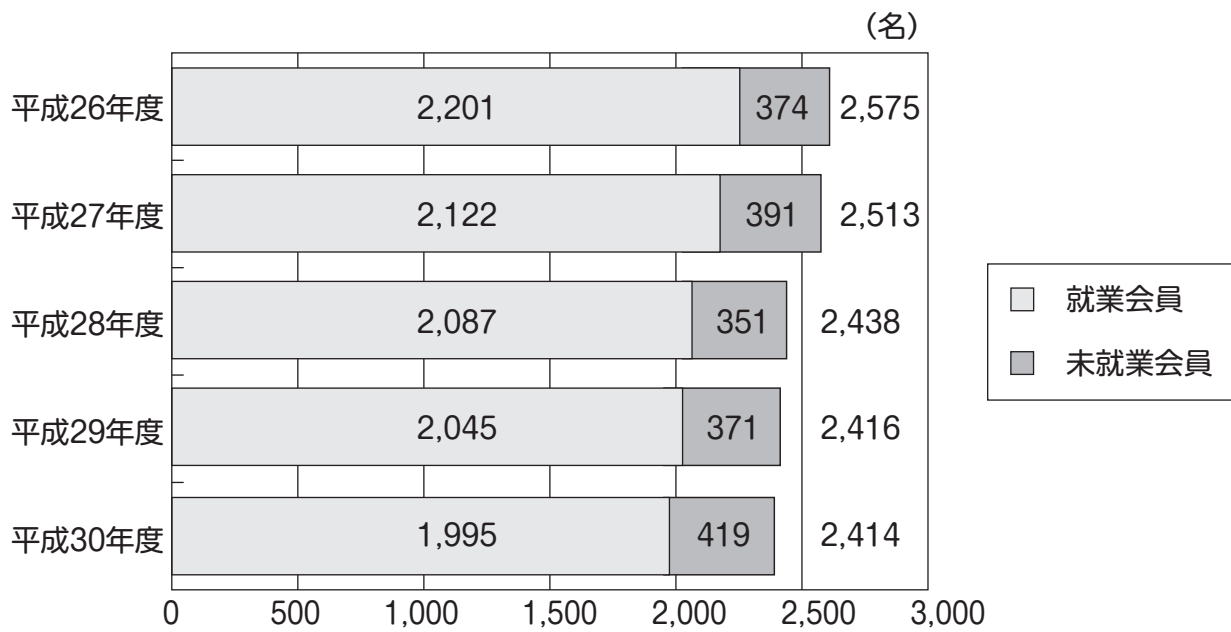
(4) 会員数の推移

(名)

	S52年4月	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
男	503	1,488	1,453	1,391	1,366	1,355
女	201	1,087	1,060	1,047	1,050	1,059
計	704	2,575	2,513	2,438	2,416	2,414



(5) 各年度別就業実人員の推移



(6) 各年度月別就業実人員

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 実人員
平成26年度	1,875	1,851	1,862	1,846	1,810	1,856	1,818	1,794	1,779	1,788	1,770	1,765	2,201
平成27年度	1,819	1,818	1,825	1,801	1,761	1,829	1,809	1,808	1,776	1,755	1,760	1,779	2,122
平成28年度	1,792	1,783	1,805	1,800	1,765	1,815	1,775	1,793	1,767	1,745	1,749	1,737	2,087
平成29年度	1,761	1,746	1,734	1,764	1,721	1,768	1,730	1,714	1,684	1,684	1,688	1,678	2,045
平成30年度	1,688	1,670	1,684	1,693	1,656	1,708	1,674	1,670	1,675	1,662	1,657	1,663	1,995

3. 事業実績

(1) 平成30年度月別事業実績

月別	月別 会員数	事業別	受託事業 件数	就業人員		契 約 金 額			
				延実人員	延日人員	配 分 金	材 料 費	事 務 費	計
	人		件	人	日人	円	円	円	円
4月	2,442	公 共	49	1,164	8,409	33,799,972	692,775	3,435,718	37,928,465
		民 間	1,248	2,042	15,923	55,801,180	633,557	4,858,687	61,293,424
		計	1,297	3,206	24,332	89,601,152	1,326,332	8,294,405	99,221,889
5月	2,453	公 共	56	1,144	9,016	33,800,309	512,294	3,598,047	37,910,650
		民 間	1,390	2,510	17,194	61,703,079	1,494,279	5,324,771	68,522,129
		計	1,446	3,654	26,210	95,503,388	2,006,573	8,922,818	106,432,779
6月	2,407	公 共	49	1,246	9,180	35,174,512	621,326	2,680,735	38,476,573
		民 間	1,336	2,119	15,726	59,558,252	1,008,101	5,331,317	65,897,670
		計	1,385	3,365	24,906	94,732,764	1,629,427	8,012,052	104,374,243
7月	2,399	公 共	47	1,010	8,081	32,669,673	470,735	2,983,119	36,123,527
		民 間	1,322	2,309	16,989	59,173,469	964,175	5,090,958	65,228,602
		計	1,369	3,319	25,070	91,843,142	1,434,910	8,074,077	101,352,129
8月	2,408	公 共	47	1,328	8,167	33,351,478	631,506	2,707,925	36,690,909
		民 間	1,273	2,297	16,685	58,698,101	1,337,015	5,203,928	65,239,044
		計	1,320	3,625	24,852	92,049,579	1,968,521	7,911,853	101,929,953
9月	2,385	公 共	47	1,169	8,344	35,205,834	823,939	5,629,550	41,659,323
		民 間	1,284	2,459	16,469	57,926,606	1,227,785	5,484,749	64,639,140
		計	1,331	3,628	24,813	93,132,440	2,051,724	11,114,299	106,298,463
10月	2,396	公 共	49	1,147	9,168	34,378,937	472,891	2,812,502	37,664,330
		民 間	1,468	2,539	17,430	62,438,065	1,084,481	5,658,083	69,180,629
		計	1,517	3,686	26,598	96,817,002	1,557,372	8,470,585	106,844,959
11月	2,407	公 共	51	1,006	8,163	31,990,825	504,298	3,151,649	35,646,772
		民 間	1,425	2,359	15,579	59,617,351	1,520,451	5,243,887	66,381,689
		計	1,476	3,365	23,742	91,608,176	2,024,749	8,395,536	102,028,461
12月	2,417	公 共	42	1,167	7,891	30,938,543	633,744	3,144,623	34,716,910
		民 間	1,301	2,144	15,585	56,434,502	1,023,540	5,119,980	62,578,022
		計	1,343	3,311	23,476	87,373,045	1,657,284	8,264,603	97,294,932
1月	2,414	公 共	48	1,140	8,332	30,048,515	462,007	2,976,345	33,486,867
		民 間	1,096	1,871	14,201	50,110,740	510,118	4,285,995	54,906,853
		計	1,144	3,011	22,533	80,159,255	972,125	7,262,340	88,393,720
2月	2,412	公 共	50	1,241	8,484	32,246,601	536,217	3,474,326	36,257,144
		民 間	1,113	2,106	14,944	49,867,218	517,034	4,524,325	54,908,577
		計	1,163	3,347	23,428	82,113,819	1,053,251	7,998,651	91,165,721
3月	2,414	公 共	67	1,322	9,422	33,351,256	482,989	3,254,616	37,088,861
		民 間	1,158	1,951	15,480	56,471,996	828,021	7,757,156	65,057,173
		計	1,225	3,273	24,902	89,823,252	1,311,010	11,011,772	102,146,034
累 計		公 共	602	14,084	102,657	396,956,455	6,844,721	39,849,155	443,650,331
		民 間	15,414	26,706	192,205	687,800,559	12,148,557	63,883,836	763,832,952
		計	16,016	40,790	294,862	1,084,757,014	18,993,278	103,732,991	1,207,483,283

(2) 会員の職群別就業実績

	公共事業		民間事業		合計		構成比
	延日人員	配分金	延日人員	配分金	延日人員	配分金	
	日人	円	日人	円	日人	円	%
1.技術群	0	0	2,940	13,737,961	2,940	13,737,961	1.3
2.技能群	164	1,841,520	6,177	56,761,440	6,341	58,602,960	5.4
3.事務群	2,171	8,301,004	12,450	24,312,130	14,621	32,613,134	3.0
4.管理群	34,694	206,258,390	16,649	77,287,472	51,343	283,545,862	26.1
5.折衝外交群	726	1,817,220	1,211	4,107,263	1,937	5,924,483	0.6
6.軽作業群	28,380	98,742,383	131,306	479,733,537	159,686	578,475,920	53.3
7.サービス群	36,522	79,995,938	21,472	31,860,756	57,994	111,856,694	10.3
8.その他	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	102,657	396,956,455	192,205	687,800,559	294,862	1,084,757,014	100.0
構成比%	34.8	36.6	65.2	63.4	100.0	100.0	

図-1 職群別配分金比率

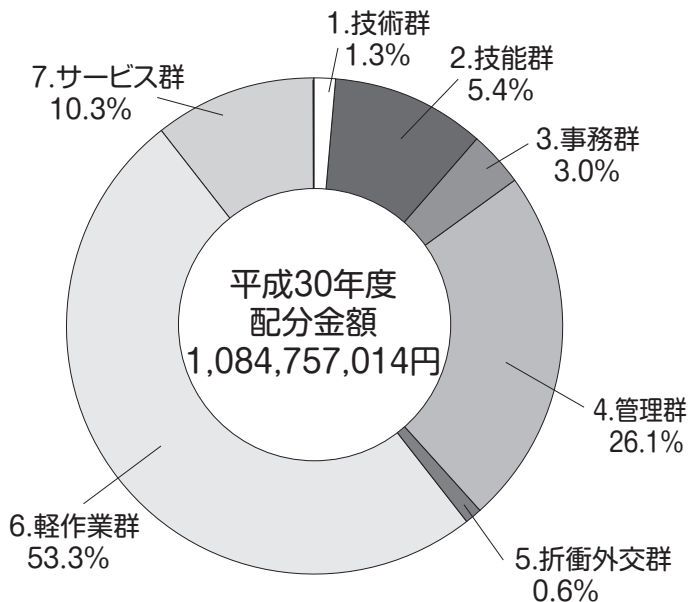
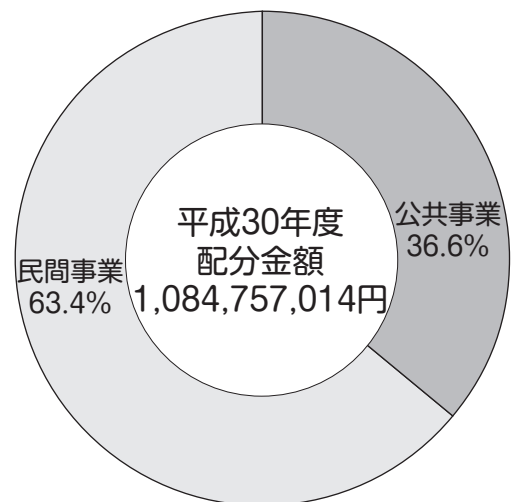


図-2 事業別配分金比率



(3) 各年度別事業実績（過去5年間）

年度	事業別	委託件数	延日人員	配分金	材料費	事務費	計	公民比
		件	日人	円	円	円	円	
昭和52年度	公共	79	3,235	8,636,296	682,986	502,882	9,822,164	33.6 : 66.4
	民間	704	5,132	15,847,884	2,363,864	1,177,307	19,389,055	
	計	783	8,367	24,484,180	3,046,850	1,680,189	29,211,219	
平成26年度	公共	634	101,670	376,053,195	11,976,546	37,393,747	425,423,488	33.2 : 66.8
	民間	16,720	209,955	778,320,934	10,774,713	65,125,349	854,220,996	
	計	17,354	311,625	1,154,374,129	22,751,259	102,519,096	1,279,644,484	
平成27年度	公共	613	101,261	367,618,988	12,716,313	37,186,798	417,522,099	33.2 : 66.8
	民間	17,223	213,336	762,803,254	12,247,611	64,827,383	839,878,248	
	計	17,836	314,597	1,130,422,242	24,963,924	102,014,181	1,257,400,347	
平成28年度	公共	649	101,244	383,841,599	11,875,711	37,265,304	432,982,614	34.5 : 65.5
	民間	17,052	208,789	747,352,337	11,806,897	64,013,398	823,172,632	
	計	17,701	310,033	1,131,193,936	23,682,608	101,278,702	1,256,155,246	
平成29年度	公共	618	107,080	389,239,749	11,637,367	37,587,265	438,464,381	35.7 : 64.3
	民間	16,403	201,089	713,466,975	13,627,937	61,995,530	789,090,442	
	計	17,021	308,169	1,102,706,724	25,265,304	99,582,795	1,227,554,823	
平成30年度	公共	602	102,657	396,956,455	6,844,721	39,849,155	443,650,331	36.7 : 63.3
	民間	15,414	192,205	687,800,559	12,148,557	63,883,836	763,832,952	
	計	16,016	294,862	1,084,757,014	18,993,278	103,732,991	1,207,483,283	

図－3 各年度別事業実績の推移

